

安城市の環境についてのアンケート結果

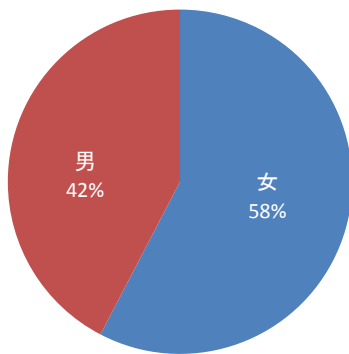
対象：20歳以上の安城市在住者 2,000人（無作為抽出）

発送日：2月19日、回収締め切り3月31日

回答者数：912人（回答率45.60%）

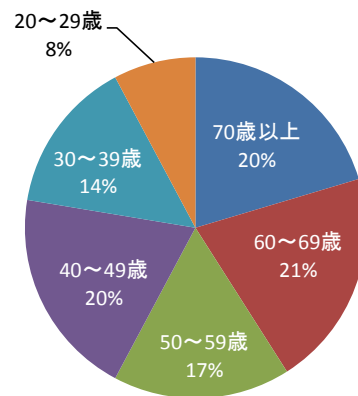
1 回答者の属性

【性別】



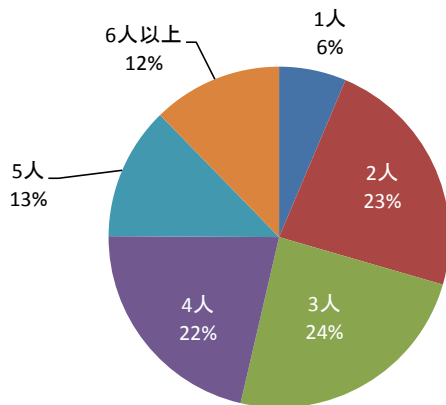
n=857

【年齢】



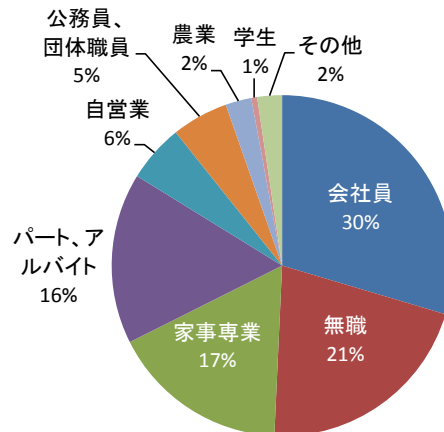
n=898

【家族の人数】



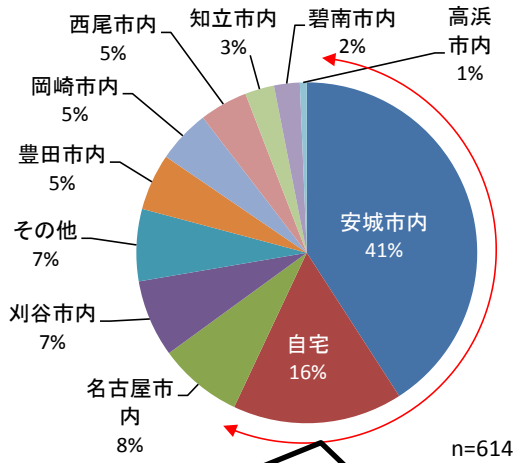
n=895

【職業】



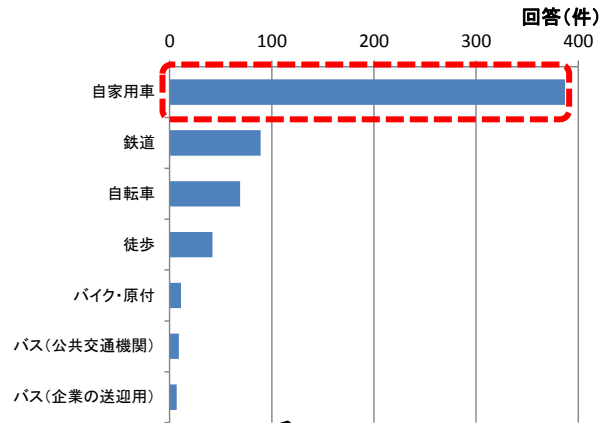
n=895

【職場、通学先】



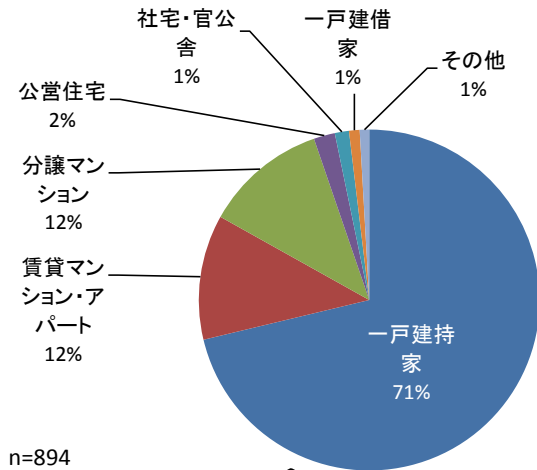
安城市内に職場・通学先がある人が半数。

【通勤、通学手段】



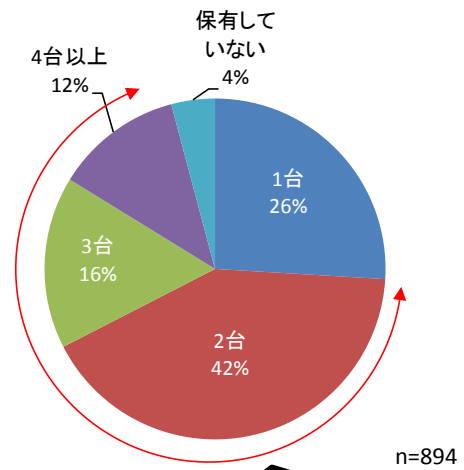
自家用車が圧倒的に多い。

【住居形態】



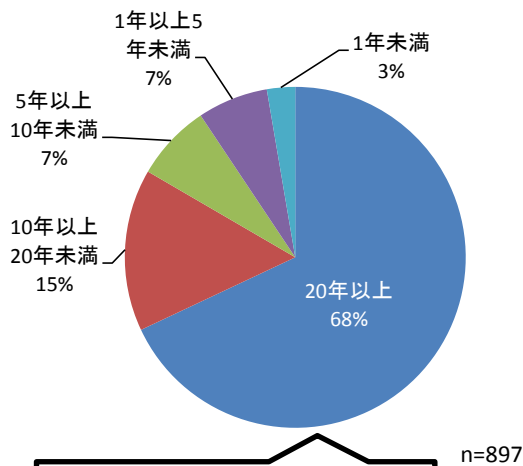
一戸建持家が 7 割。

【自動車保有台数】



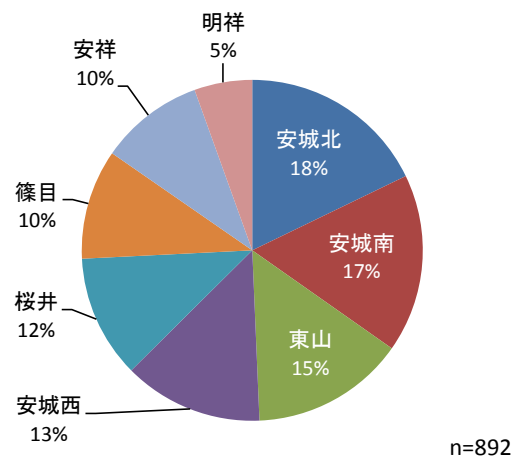
複数台保有している人が 7 割。

【安城市在住年数】



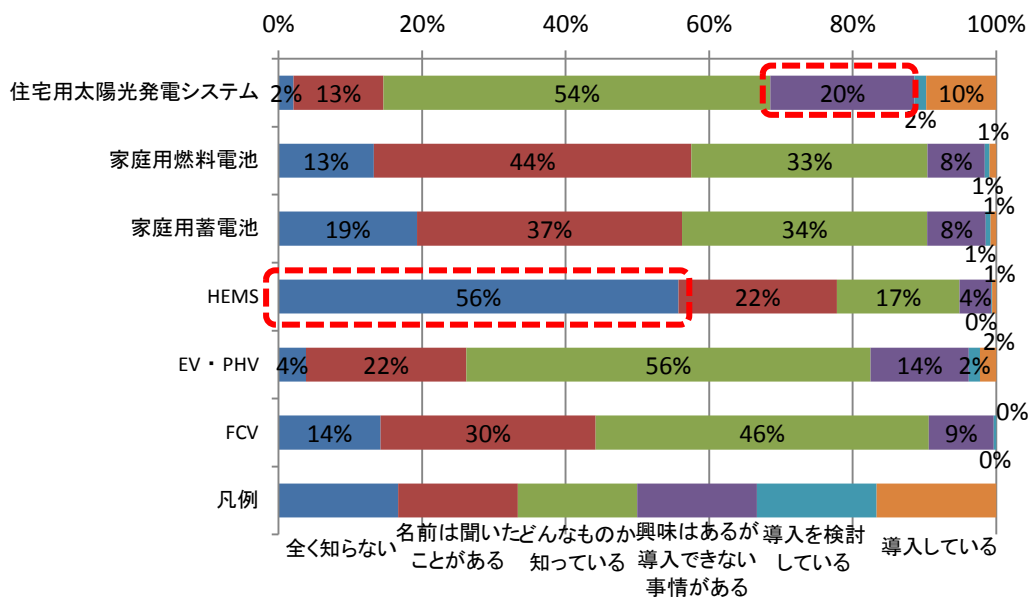
在住年数 20 年以上が 7 割。

【中学校区】



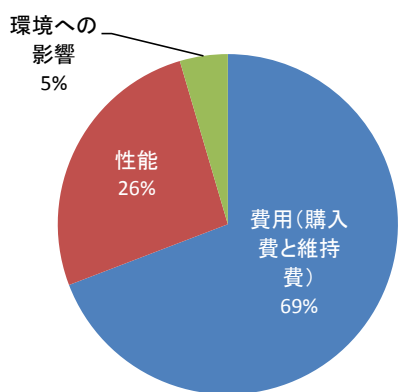
2 エネルギー

【認知状況】

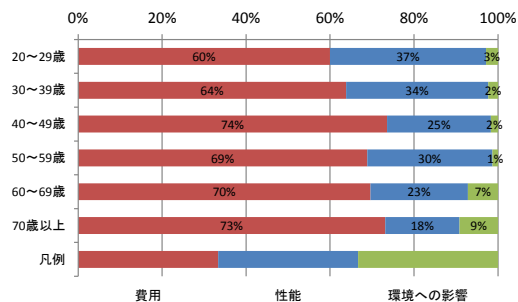


認知度合いが高いのは、EV・PHV、FCV、太陽光発電、認知度合いが低いのは HEMS である。
 太陽光発電は、導入している回答の割合が最も多いものの、導入できない事情があるとの回答も、最も多い。

【自動車や家電の購入時に重視する点】



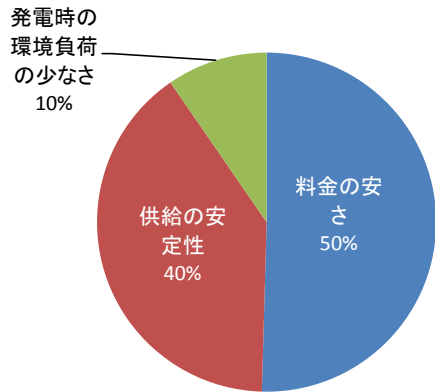
n=899



自動車や家電の購入時には、性能や環境への影響より費用を重視。

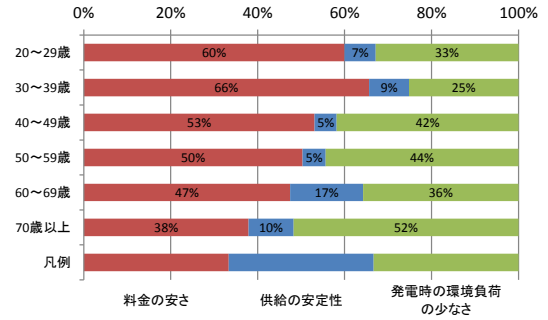
年齢が高くなるほど、「費用」とともに「環境への影響」を重視する人の割合が多くなる。

【電気の調達先を選択する際重視する点】



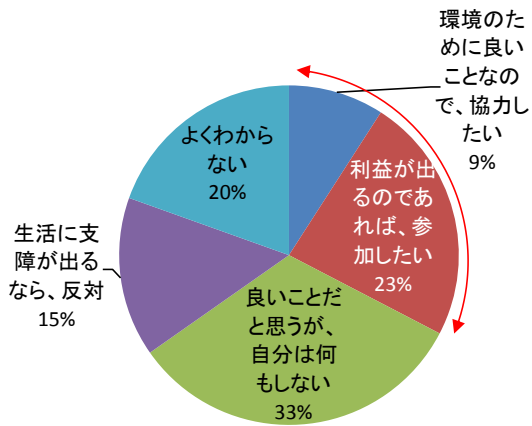
n=896

電気の調達先には、環境への影響より、料金の安さ、供給の安定性を重視。



年齢が高くなるほど、「料金の安さ」が減り、「発電時の環境負荷の少なさ」を重視する人の割合が多くなる。

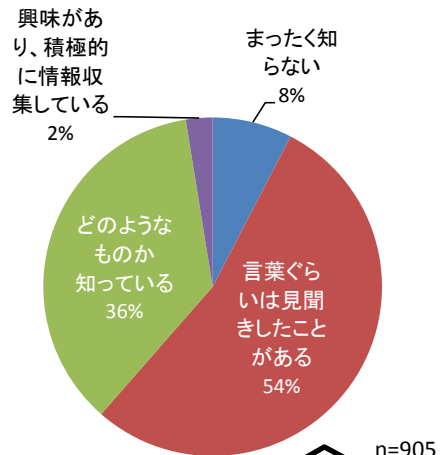
【再生可能エネルギーによる発電事業に対して】



n=901

条件付きも含め、「参加・協力したい」が3割。「何もしない」も3割。

【再生可能エネルギーに対する知識】

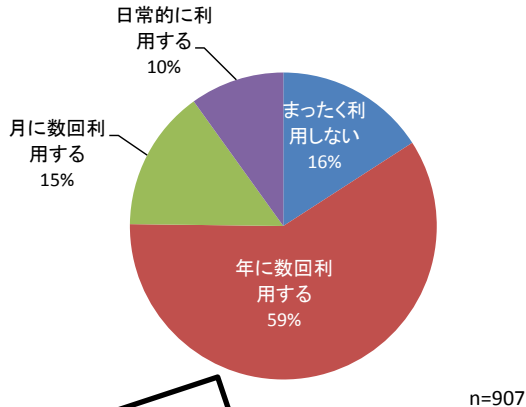


n=905

興味がある人より、「まったく知らない」人のほうが多い。

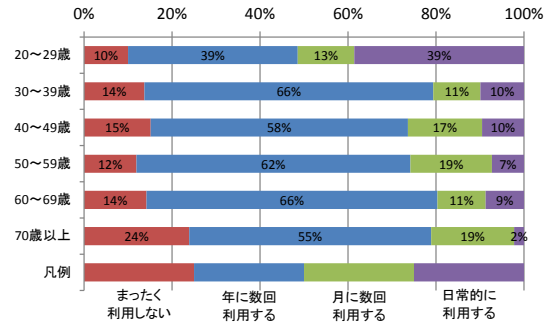
3 交通

【電車の利用状況】



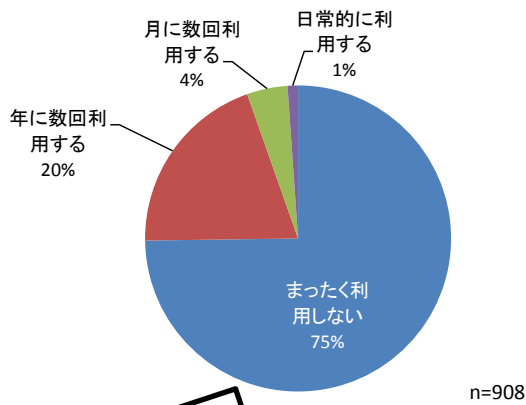
n=907

電車を日常的に利用する人は1割。



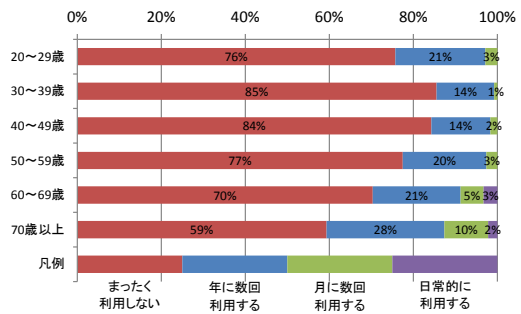
年齢が高くなるほど電車を利用する割合が減る。

【路線バスの利用状況】



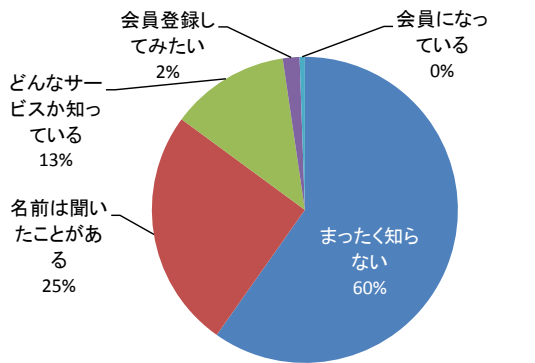
n=908

路線バスを日常的に利用する人は1%。



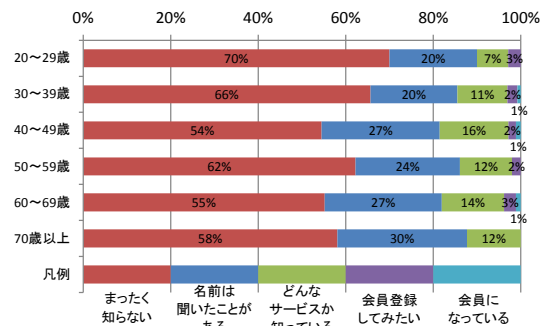
年齢が高くなるほど路線バスを利用する割合が増える。

【カーシェアリング実証事業「き～☆モビ」について】



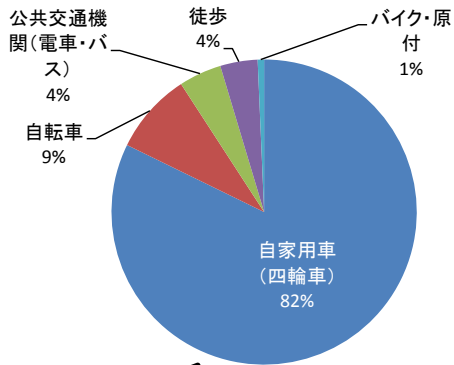
n=905

「き～☆モビ」を全く知らないが6割。



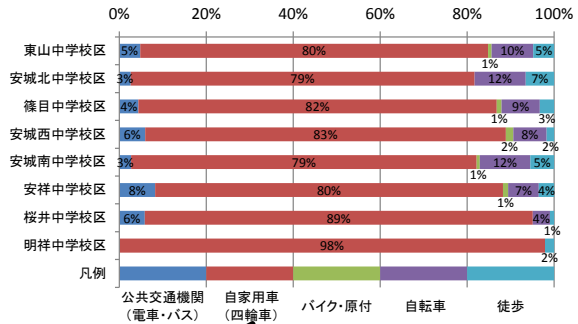
会員登録意欲は、70歳未満では世代間に差はない。

【通勤・通学以外で安城市内の移動手段】



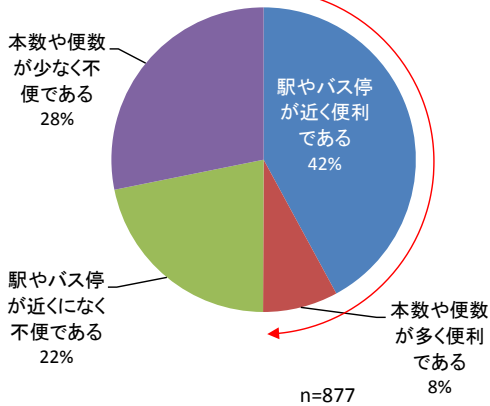
n=884

市内の移動手段は自家用車と自転車で9割。



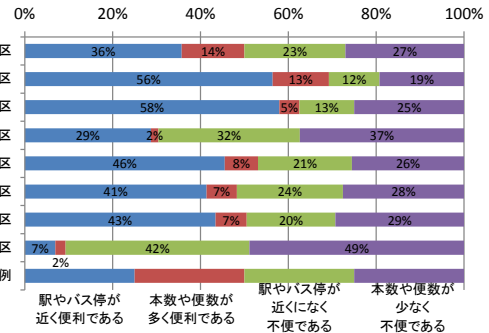
自家用車の割合が最も高いのは明祥中学校区。最も割合の低い安城北、安城南中学校区と20ポイントの差がある。

【公共交通機関 (電車・バス) の利用に対する意見】



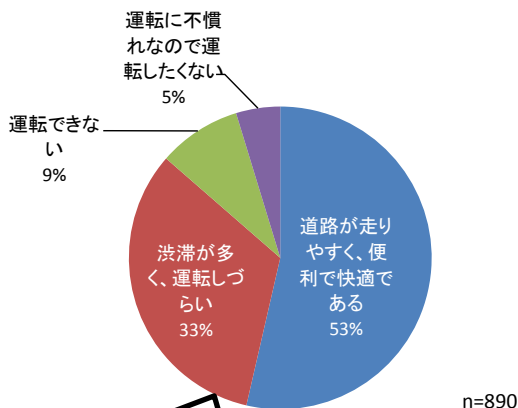
n=877

「便利」と「不便」は半々。「便利」と感じるポイントは近いこと。



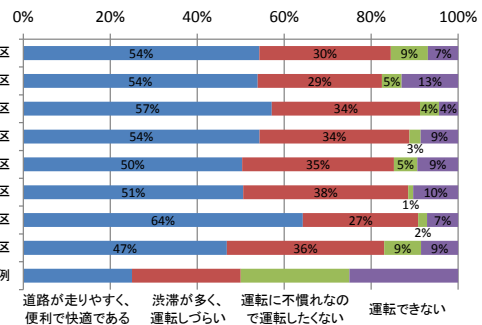
最も「不便」が多いのは明祥中学校区で、次いで安城西中学校区。南西部で不便と感じる人が多い。

【市内の自動車移動に対する意見】



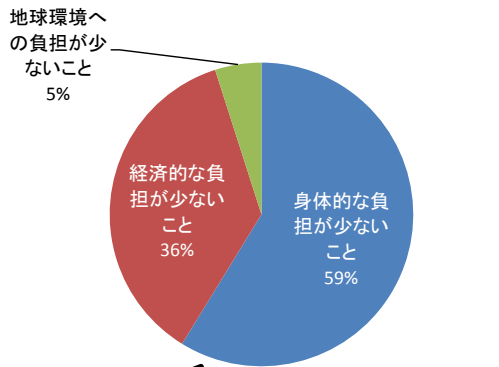
n=890

道路は快適と感じている人が5割。



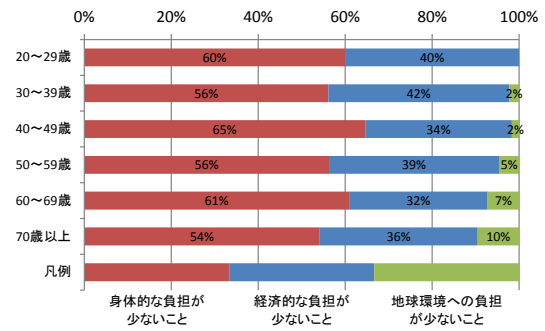
自動車移動に関しては、中学校区間で大きな差はない。

【交通手段を選択する際、最も重視すること】



n=890

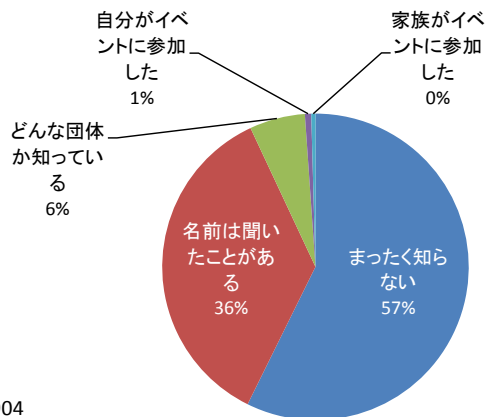
「身体的な負担が少ないこと」を重視する人が6割。



年齢が高くなるほど、「地球環境への負担が少ないこと」を重視する人の割合が多くなる。

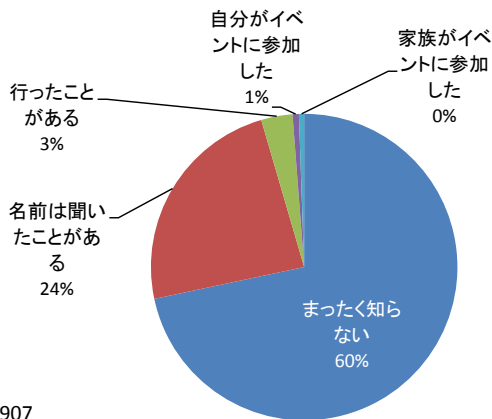
4 環境教育・啓発

〔 認定NPO法人「地球温暖化対策地域協議会 エコネットあんじょう」について 〕



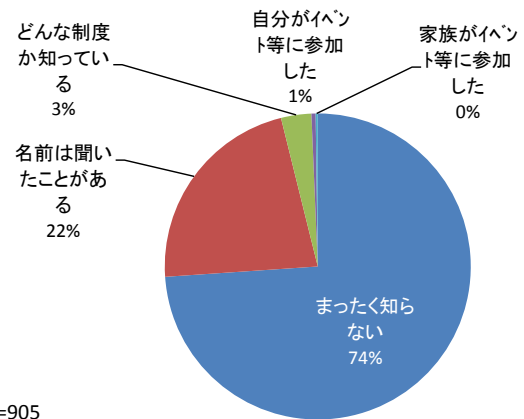
n=904

〔 秋葉いこいの広場環境学習センター「エコきち」について 〕



n=907

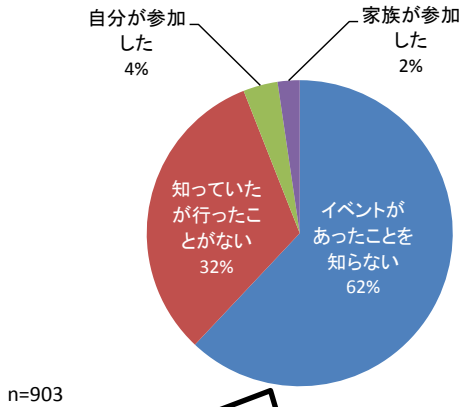
【環境アドバイザー制度について】



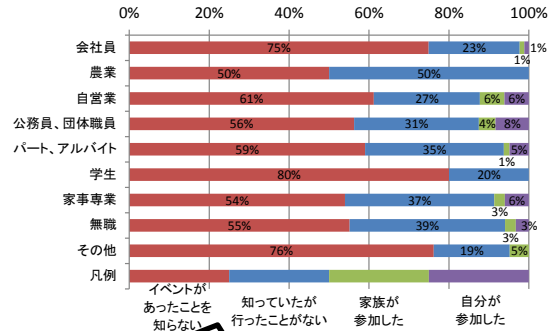
n=905

環境学習に関する制度・団体等の認知度が低い。

【安城市内で開催された環境関係のイベントへの参加について】

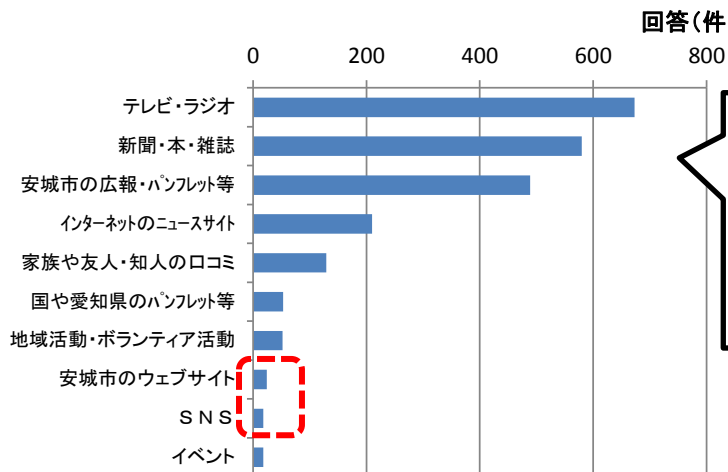


「イベントがあったことを知らない」人が6割。



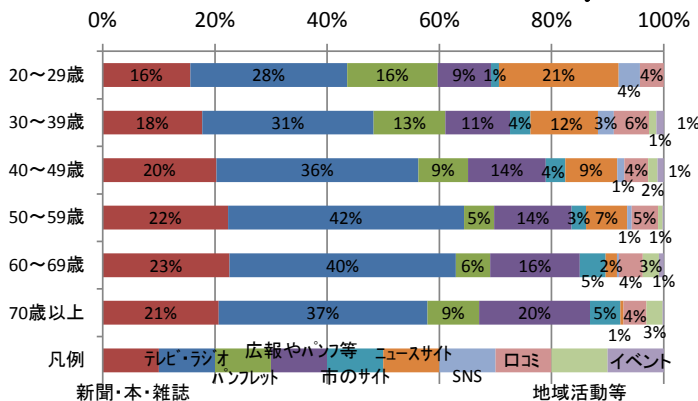
「イベントがあったことを知らない」のは、会社員が多い。自営業、公務員、パート・アルバイト、家事専業等は「自分が参加した」人が多い。

【環境問題について情報を得る主な手段】



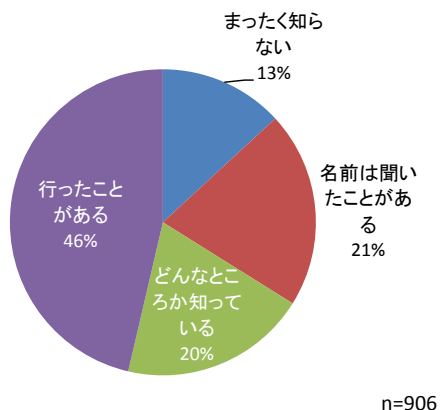
「テレビ・ラジオ」、「新聞・本・雑誌」に次いで、「安城市の広報・パンフレット」の利用者が多い。安城市のウェブサイトやSNSなど新しいメディアは活用されていない。

年齢が低くなるほど、「ニュースサイト」「SNS」を利用する人の割合が多くなる。「市の広報」は年齢が低くなるほど少なくなる。「市のサイト」は年齢による変化はあまりない。

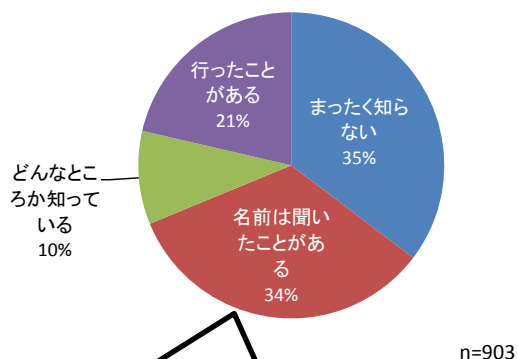


5 自然環境

【油ヶ淵について】

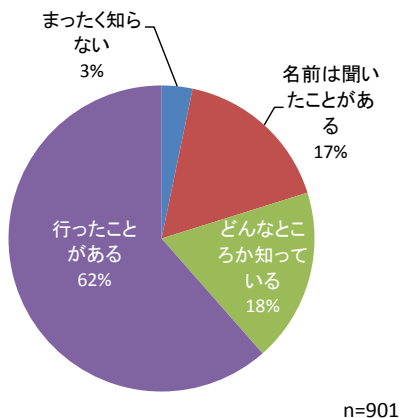


【根羽村について】



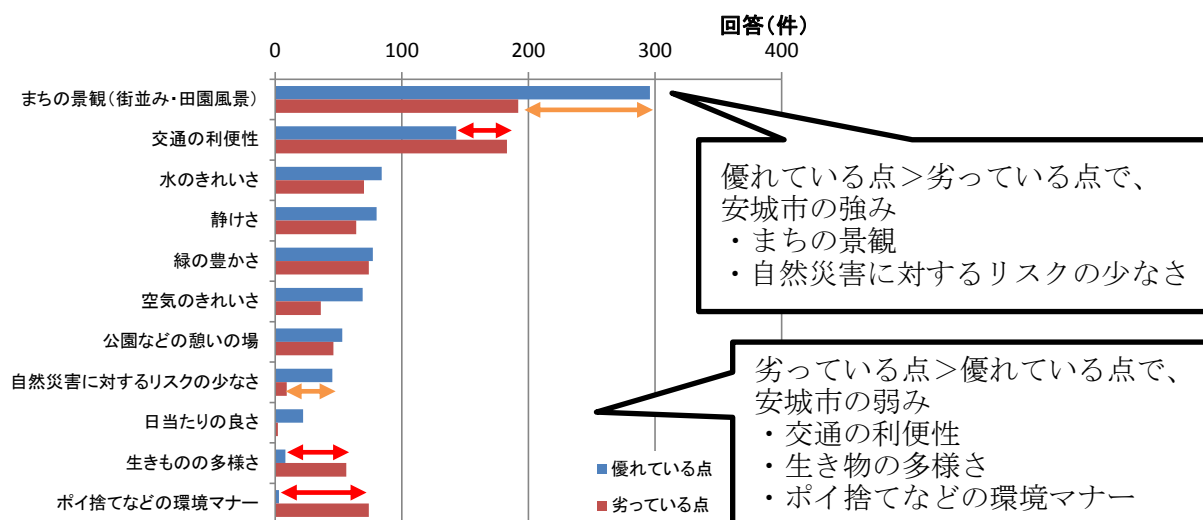
油ヶ淵、三河湾に比べ、根羽村は「全く知らない」人が多い。

【三河湾について】



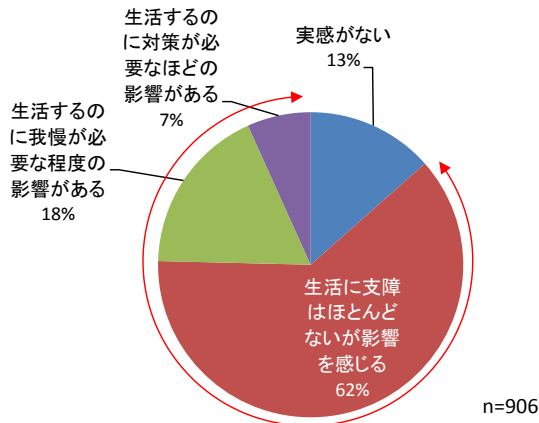
6 生活環境

【優れている点と劣っている点】

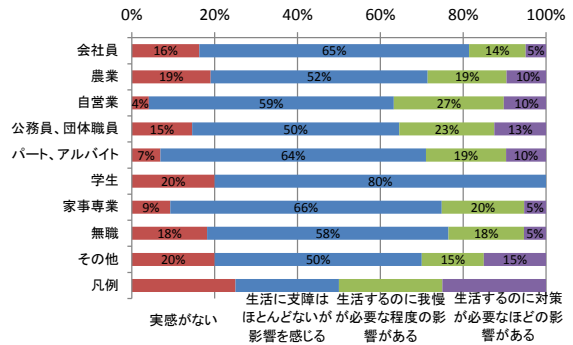


7 地球温暖化

【地球温暖化の影響】

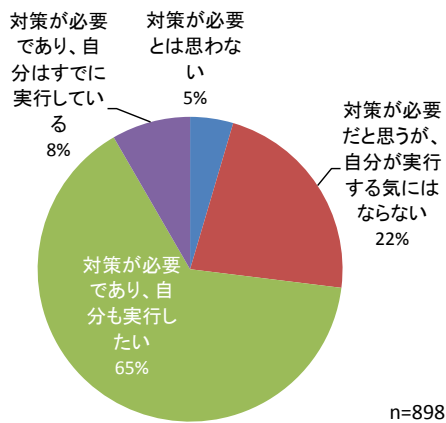


影響を感じている人は9割。

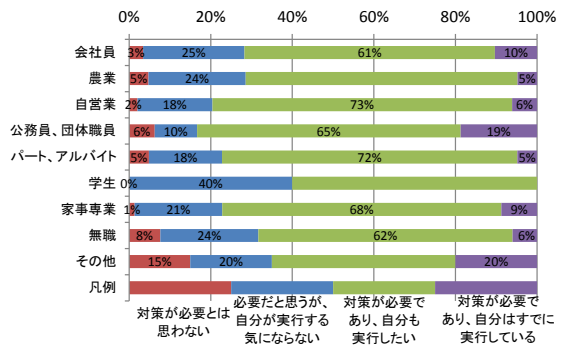


「会社員」「農業」「公務員、団体職員」は「実感がない」人が多い。

【地球温暖化対策の必要性】



対策を「実行している」人は1割だが、「実行したい」人は7割。



「公務員、団体職員」は、「すでに実行している」人が多い。「会社員」、「家事専業」は少ない。

8 自由筆記

多く見られた意見を以下に示す。

【全般】

- ・ 住みやすい、住みよい
- ・ 中心街（商店街）が寂しい
- ・ 税金の無駄遣いを感じる
- ・ その他の要望、提案

【交通・エネルギー】

- ・ 道路の整備、管理が悪い
- ・ 公共交通機関が不便
- ・ あんくるバスが不便（路線、便数）
- ・ 車を使わなくても良い街づくりをしてほしい
- ・ 次世代自動車、再生可能エネルギー等への補助金等を充実させてほしい

【まちなみ】

- ・ 田畑が少なくなった、田畑を残してほしい（生き物が減った、）
- ・ 街灯を増やしてほしい

【ごみ・マナー】

- ・ ごみのポイ捨てが多い
- ・ ごみ出し環境が悪い、ごみが出しにくい
- ・ 市民のマナー、意識を向上させてほしい

【協働】

- ・ 安城市の環境行政がわかりにくい
- ・ 環境情報の発信、環境教育の充実
- ・ 私・我が家の環境活動の紹介